

2014年12月1日



Passienol™

森永製菓独自素材“パセノール™”に関する研究成果
「有効成分ピセアタンノールの SIRT1 発現誘導活性について
国際学術誌「Nutrients」に掲載」

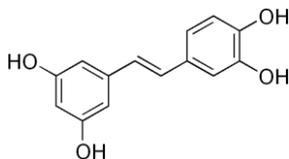
森永製菓株式会社（東京都港区芝、代表取締役社長・新井徹）では、健康分野における機能性素材の開発を推進してまいりました。その中でパッションフルーツの種子中にアンチエイジング機能を有する“ピセアタンノール (Piceatannol)”※¹が豊富に存在していることを発見し、森永製菓独自の健康素材「パセノール™（アルファベット表記：Passienol™）」を開発しました。

「パセノール™」の有効成分である“ピセアタンノール”は、アンチエイジング素材として注目されている“レスベラトロール(Resveratrol)”※²と非常によく似た構造であり、当社ではこれまでに血管弛緩作用やコラーゲン分解抑制・産生促進作用、メラニン合成抑制作用などを明らかにしています。

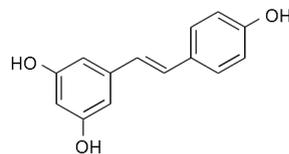
この度、パセノール™に関する新しい研究成果が栄養学の分野で権威のある国際学術誌「Nutrients」に掲載されました。

掲載内容は、ヒト単球細胞株である THP-1 細胞において、“ピセアタンノール”やその吸収代謝物の“イソラポンチゲニン”※³が長寿遺伝子 SIRT1*の発現を誘導することを初めて確認したというものです。さらに、レスベラトロールの代謝物には SIRT1 の誘導活性がなかったことから、“ピセアタンノール”を有効成分とする「パセノール™」を摂取することで、“レスベラトロール”よりもさらに優れたアンチエイジング効果を発揮できる可能性があると考えています。

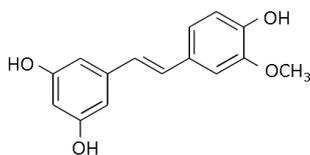
当社では、上記研究成果を既に特許出願し、独自素材「パセノール™」を利用したアンチエイジング製品の開発をさらに推進していきます。



※¹ ピセアタンノールの構造式



※² レスベラトロールの構造式



※³ イソラポンチゲニンの構造式

* SIRT1・長寿遺伝子 SIRT1 とは、長寿にかかわる因子で、テレビ等に取り上げられて注目されています。

Passienol™のロゴ；

Passienol™



Passienol™のHPアドレス； <http://www.morinaga.co.jp/company/healthcare/passion.html>